

2011年のバスカップ・テクノクラスで競技中の西山さん（左端）。大学生に交じって参加し、2位に入賞した



にしやま こうすけ
西山 光佑さん (12)
福岡市・福大大濠中1年

高く輝け ウィンドサーフィンの新星



㊦「大人の大会でも1位を目指したい」という西山光佑さん㊦帆は背丈の倍以上。体全体を使ってあおいたり、風に乗ったりして水面を走る

ピカ★いち
このひと編

日曜日の福岡市西区愛宕浜。ボードに立って大きな帆に風を受け、青い海をぐんぐん進む。

背丈の倍以上もある帆をたくみに操る西山光佑さん(12)は、ウィンドサーフィン界の期待の星だ。

西山さんがウィンドサーフィンを始めたのは、知人に誘われて体験会に行った小学2年生の頃だった。「最初は難しかったけれど、やっていくうちにどんどん上達していくのが実感できた」と話す。練習は毎週日曜日に約5時間する。少しの雨なら休まず、真冬の吹雪の中でも水温に慣れながら練習するという。

楽しいのは、沖に出ると魚が跳ねるのを間近で見られること。昨年の夏には、志賀島に来た

た潜水艦を往復2時間もかけて見に行ったそうだ。

小学3年生からは試合にも出場している。昨年、大分県で行われたバスカップという大会では、大学生に交じってレースに参加。ただ一人の小学生ながら、テクノ6・8平方以下クラスで2位に入賞した。子どものクラスでは優勝経験もある。

7月15、16日には、所属しているNPO法人「福岡海浜スポーツ振興協会」が開く体験講習「海と風の学校」で、先生役を務める。そんな西山さんの一番の目標は「大人のクラスのレースで1位になること」。大

学生を押しつけ勝ち取った2位よりも、もっと上へ。大海原での挑戦は続く。

取材



福岡県飯塚市・二瀬中1年
まえはら ひとし 記者
前原 一心

感想 「実は泳ぎは苦手」と苦笑いの西山さんは、僕と同じ12歳の顔だった。



福岡市・下山門小6年
やまき みか 記者
山崎 美佳

感想 ウィンドサーフィンは大変だけど楽しいスポーツなんだろうなと思った。